

平成22年1月教育委員会会議の要旨

議 案

議案第1号『山口県文化財保護審議会委員の任命について』

【概要】

山口県文化財保護審議会条例（昭和50年山口県条例第39条）第2条第2項の規定により、以下の表により任命することについて審議され、承認された。

山口県文化財保護審議会委員（案）

任期 平成22年2月1日～平成24年1月31日

役職	氏 名	勤 務 先 等	担 当 分 野	任命
委員	藤田 盟児	広島国際大学工学部教授	建造物（社寺等）	新任
委員	日向 進	京都工芸繊維大学教授	建造物（町屋等）	再任
委員	井手誠之輔	九州大学人文科学研究院教授	絵画	再任
委員	副島 弘道	大正大学文学部教授	彫刻・工芸品	再任
委員	秋山 伸隆	県立広島大学人間文化学部教授	古文書・歴史資料・史跡（中世）	再任
委員	田中 誠二	山口大学人文学部教授	古文書・歴史資料・史跡（近世）	再任
委員	木下 尚子	熊本大学文学部教授	考古資料・史跡	再任
委員	福田 東亜	元山口芸術短期大学教授	有形文化財・史跡（近代）	再任
委員	湯川 洋司	山口大学人文学部教授	有形民俗文化財・無形民俗文化財	再任
委員	多々良美春	日本庭園学会会員 日本造園学会会員	名勝	再任
委員	阿部 弘和	山口大学教育学部教授	天然記念物（動物）	再任
委員	奥田 敏統	広島大学大学院総合科学研究科教授	天然記念物（植物）	再任
委員	今岡 照喜	山口大学理学部 地球圏システム科学科教授	天然記念物（地質鉱物）	新任
委員	中尾 里子	萩市文化財保護審議会委員	一般	新任
委員	安野 早己	山口県立大学国際文化学部教授	一般	再任
委員	梅田 幸子	元下松市教育委員	一般	再任

報告事項

◆『平成21年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果』について、報告された。

【概要】

(1)調査について

調査主体	文部科学省
調査開始	平成20年（平成21年が2回目）
調査期間	平成21年4月～7月末（学校ごとに期日を設定）
調査対象	小学校5年生の全児童及び中学校2年生の全生徒（全国悉皆調査）
調査内容	<p>【児童・生徒に対する調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実技に関する調査（新体力テスト） ・質問紙調査（生活習慣・運動習慣等） <p>【学校に対する調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問紙調査（取組状況等）
公表時期	調査年度の12月

(2)調査対象（調査学校数及び児童・生徒数）

区分	小学校5年生				中学校2年生			
	学校数	児童数			学校数	生徒数		
		男子	女子	合計		男子	女子	合計
山口県	321	6,598	6,352	12,950	165	6,206	5,821	12,027
全国	18,946	508,853	486,813	995,666	9,188	471,604	445,794	917,398

◇結果のポイント

- 小5・中2の体格は、身長と体重のバランスがよい
- 小5の体力合計点は全国平均値と同値
- 中2の体力合計点は全国平均値に近づく
- 「子ども元気創造」の推進を開始した平成16年度に比べ小5・中2の体力合計点、体力総合評価が向上
- 運動習慣の状況は小5・中2ともに全国平均値より高く、平成20年度に比べ向上

◆平成16年度から取り組んでいる「子ども元気創造」の推進により
体力の向上が見られ、望ましい運動習慣が定着

【 質 疑 】

質問) 平均値は示されているが、データの分布が平均値周辺に集中しているのかなど、全体の分布状況を分析しているか。

回答) 体力総合評価の項目に数値で示しているとおりに、AからEまでの評価によりランク分けし、全体的な枠組みが把握できるようにしている。

質問) 体力テストの結果について、短期・中期的な比較はされているが、長期的な比較はされているか。

回答) この度の調査は、平成20年から始まった調査であるので、長期的に比較できるデータは持っていない。

【その他意見】

- ・ 平成16年以降の子ども元気創造の取組で効果が出たことが明確にわかる図やグラフがあると良い。
- ・ 小学5年生で体力テストを受けた子どもが中学2年生になって受けたときの結果を分析してみるのも、今後の施策に役に立つのではないか。